



第 23 回 東京エリア Debian 勉強会 事前資料

Debian 勉強会会場係 上川純一*

2006 年 12 月 16 日

* Debian Project Official Developer

目次

1	Introduction To Debian 勉強会	2
1.1	講師紹介	2
1.2	事前課題紹介	2
2	Debian Weekly News trivia quiz	3
2.1	2006 年 XX 号	3
3	最近の Debian 関連のミーティング報告	4
3.1	東京エリア Debian 勉強会 22 回目報告	4
4	Debian 勉強会 2006 年結果統計	5
4.1	Debian 勉強会評価項目	5
4.2	新規の参加者	6
4.3	新規に参加して二度以上参加してくれた参加者の数	6
4.4	Debian Developer 比率	6
4.5	参加人数	7
4.6	実施テーマ	7
5	次回	9

1 Introduction To Debian 勉強会

上川純一

今月の Debian 勉強会へようこそ。これから Debian のあやしい世界に入るという方も、すでにどっぴりとつかっているという方も、月に一回 Debian について語りませんか？

目的として下記の二つを考えています。

- メールではよみとれない、もしくはよみとってられないような情報を情報共有する場をつくる
- まとまっていない Debian を利用する際の情報をまとめて、ある程度の塊として出してみる

また、東京には Linux の勉強会はたくさんありますので、Debian に限定した勉強会にします。Linux の基本的な利用方法などが知りたい方は、他でがんばってください。Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりと作りながらスーパーハッカーになれるような姿を妄想しています。

Debian をこれからどうするという能動的な展開への土台としての空間を提供し、情報の共有をしたい、というのが目的です。今回は違うこと言ってるかもしれませんが、御容赦を。

1.1 講師紹介

- 上川純一 宴会の幹事です。

1.2 事前課題紹介

今回の事前課題は「XXX」というタイトルで 200-800 文字程度の文章を書いてください。というものでした。その課題に対して下記の内容を提出いただきました。

1.2.1

1.2.2 上川

2 Debian Weekly News trivia quiz

上川純一

ところで、Debian Weekly News (DWN) は読んでいますか？Debian 界隈でおきていることについて書いている Debian Weekly News. 毎回読んでいるといろいろと分かって来ますが、一人で読んでいても、解説が少ないので、意味がわからないところもあるかも知れません。みんなで DWN を読んでみましょう。

漫然と読むだけではおもしろくないので、DWN の記事から出題した以下の質問にこたえてみてください。後で内容は解説します。

2.1 2006 年 XX 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/XX/> にある 12 月 XX 日版です。

問題 1.

- A
- B
- C

問題 2.

- A
- B
- C

問題 3.

- A
- B
- C

問題 4.

- A
- B
- C

3 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川純一

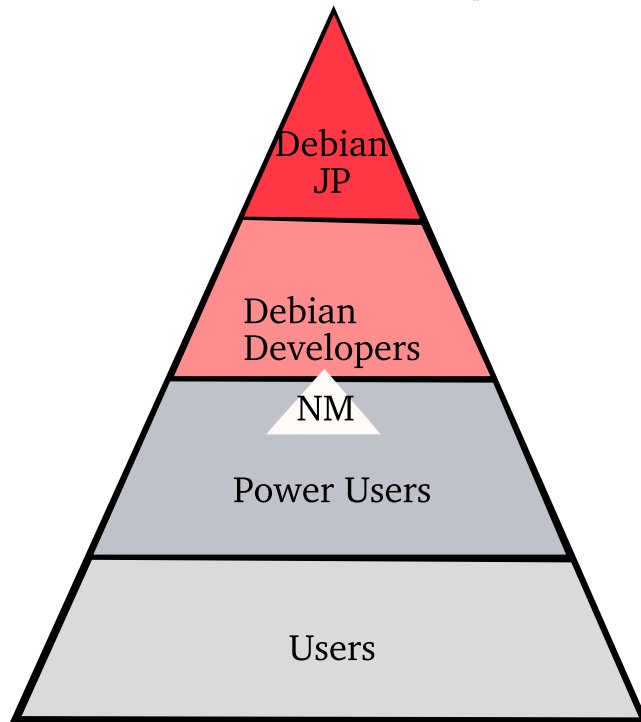
3.1 東京エリア Debian 勉強会 22 回目報告

4 Debian 勉強会 2006 年結果統計

上川

4.1 Debian 勉強会評価項目

Debian の開発者を増やしていき、Debian の活動を活発にしていきたい、そういう思いで Debian 勉強会は開催しています。そもそも Debian のユーザの裾野がひろがり、活発なユーザが増え、ユーザが開発者になろう、と思って、NM プロセスを通らないと、Debian Developer は増えません。



Debian 勉強会が成功した、という場合、何がおきた場合でしょうか。

- 直接貢献: バグがどんどんクローズされていき、新機能が追加
- 各種アプリケーションの日本語対応が進捗
- 日本から Debian Developer を生み出す
- 日本の Debian ユーザが増える
- すでに経験の豊富な Debian Developer の知識を展開
- ドキュメントが増える

直接評価できる指標としては下記があるでしょう。

- 日本語で増えたドキュメント数
- Debian Developer の参加者数

- Debian Developer でない参加者数
- 新規の参加者
- 新規に参加して二度以上参加してくれた参加者の数

それでは、値がどういうものか見てみましょう。

概算の値なので、正確ではありません。過去の記録を発掘して、今後の判断のために必要なためにひねり出しているものです。

4.2 新規の参加者

- 2005 年 1 月: 20 人
- 2005 年 2 月: 6 人
- 2005 年のこり: 12 人
- 2006 年 -6 月: 9 人

4.3 新規に参加して二度以上参加してくれた参加者の数

参加者の統計です。

- 2005 年: 39 人中 21 人
- 2006 年 -6 月: 9 人中 5 人

4.4 Debian Developer 比率

のべ参加者の中からの分析です。

- 2005 年: 39 人中 DD 4 人? NM 3 人
- 2006 年 -6 月: 19 人中 DD 2 人 NM 4 人

4.5 参加人数

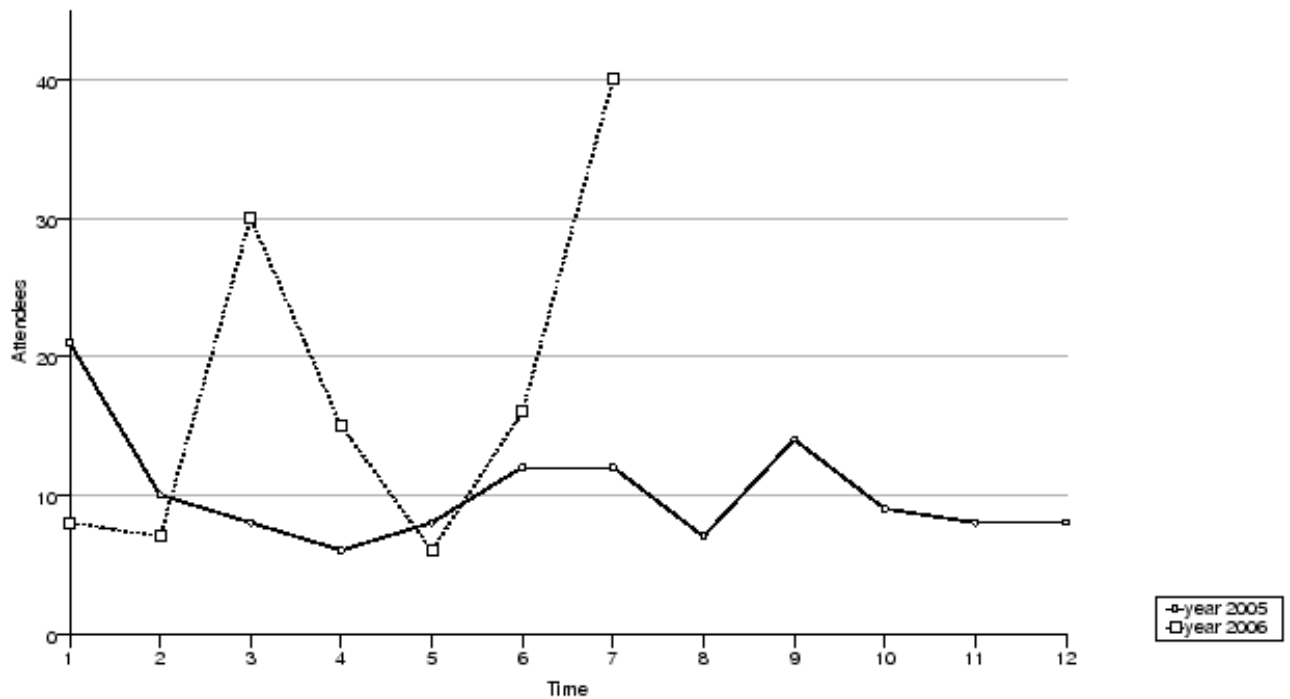


表 1 参加人数 (2006 年)

	参加人数	
2006 年 1 月	8	policy,Debian 勉強会でやりたいこと
2006 年 2 月	7	policy, multimedia
2006 年 3 月	30	OSC: debian 勉強会,sid
2006 年 4 月	15	policy, latex
2006 年 5 月	6	mexico
2006 年 6 月	16	debconf, cowdancer
2006 年 7 月	40	OSC-Do: MacBook Debian
2006 年 8 月		
2006 年 9 月		
2006 年 10 月		
2006 年 11 月		
2006 年 12 月		

4.6 実施テーマ

今年は下記のテーマを実施しました。

- Debian weekly news クイズを隔月で
- グループワーク:Debian 勉強会でやりたいこと
- Debian Policy 入門
- Debian Multimedia Project
- Debian 勉強会紹介

表 2 参加人数 (2005 年、概算)

	人数
2005 年 1 月	21
2005 年 2 月	10
2005 年 3 月 (早朝)	8
2005 年 4 月	6
2005 年 5 月	8
2005 年 6 月	12
2005 年 7 月	12
2005 年 8 月	7
2005 年 9 月	14
2005 年 10 月	9
2005 年 11 月	8
2005 年 12 月	8

- sid のすすめ
- LaTeX
- DebConf2006 報告
- cowdancer
- MacBook Debian



未定です。内容は本日決定予定です。
参加者募集はまた後程。



Debian 勉強会資料

2006 年 12 月 16 日 初版第 1 刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
